



安心の笑顔がある

支え合うことの 素晴らしさ

住民一人一人が自分の健康は自分で守ることを基本として、地域の健康づくりが進められています。本村は生活習慣病といわれるガン・心臓疾患・脳卒中の罹患率が高く総死亡数の約6割を占めています。そのため健康管理の知識の普及・啓発、食

生活の改善運動など「治す医療から守る医療へ」の意識変革が急がれています。また、早期発見、早期治療のために各種検診を進めると共に、母子保健の充実を図り、住民と行政が一体となった健康管理システムの確立に努めています。

「保健・福祉」

